

別紙 1

No	寄せられた意見
1	水道民営化、広域化を検討することに反対します。官民連携というが、企業の参入は利益追求です。水道の安全性、安定性が保障されません。利益追求のため、水道料金が高騰することになります。海外では、民営化の弊害で行き詰まり、再公営化が広がっています。広域化すると、地域の自己水源を破棄したり、過剰なダム水源が住民負担となります。すでに、蓮ダムの水を供給する南勢水道を受水することにより、水道料金が高くなりました。このような二の舞は絶対にゴメンです。
2	水道民営化に反対します。値段がたかくなる 伊勢は、水は豊富なので、水質は、大丈夫だとは思いますが、水質の低下は心配です、ヨーロッパなどは、色々問題がおき、元に戻している国が沢山あります。以上の様な事からダメだと思います。
3	臨時国会で水道法改正があり、水道事業の民営化が可能になってしまいました。諸外国では民営化により水質の悪化、料金の高騰、災害時の対応不足など、問題ばかりです。一市民として伊勢市が水道事業を民営化するような事になりはしないかと不安でなりません。どうか民営化に踏み切るような事をしないでください。水は命にかかわります。目先の利益を優先せず、本当に市民のためになる水道事業運営に努めて頂くようお願いします。
4	「伊勢の水はおいしい」と、他地域の方は言います。ずっと伊勢に住んでいる私には、そうなんだと思うと同時に、ありがたいことだなあと感じます。水道に関していただいている方々に感謝です。今回、国は、水道法を変えてしまいました。伊勢市は、民営化や広域化せず、伊勢のおいしくて安全で安定した、水道事業をお願いしたいと思っています。今日、ニュースで岩手県の雫石町で水道を止めるというさわぎを聞きました。民営だと、もうけることが一番で生命の源である水の供給には責任をもたないのだと 分かりました。山口県の大島大橋へタンカーがぶつかり水道管が破損した事故で町全域で断水が続いたことも、水道事業を一本に広域化したからかなと思います。市民といっしょに改正水道法に抗ってください。よろしくお願い致します。
5	私たちは朝の一杯のお茶から、夜の入浴、歯みがきまで、たくさんの水を使わせてもらっています。市営の水道は安心で安全なのでとてもありがたく思っています。この水道の水が民営化されたことに大きく2つの不安を持っています。①日本一きれいな宮川を水源に持ち安心して飲み水に使うことができます。伊勢市が管理運営していることで、安全で安価な水が使えているのに、この安全が保障されるのか。②企業のものになったら水道料金の値上げにならないか。心配なことばかりです。どうか命の水は伊勢市の責任でもって市民に提供されることが将来においても続くことを心から願っています。がんばってください。
6	伊勢の水は安全でおいしい。民営化されたらどうしても利益を追求することになり、

	<p>点検や修理もおろそかになることも想像できます。災害があった時でも今は、市の水道局の方々がすぐ対応して下さっています。民営化になったら 24 時間すぐに対応してくれるのでしょうか？ 水道管の老朽化も放りばなしにならないのでしょうか？ 大きな災害時に水道事業会社では対処できないと思います。今のまま、国や県・市町村が責任をもって水道を守ってほしい。命を守る責任を放棄しないでください。</p>
7	<p>今まで、おいしい水、安全な水を市民に供給してもらって、感謝しています。私は現在、信頼していますが、民間業者が入ってき、その信頼は揺ぎます。外国企業が参入した場合、私たちのことを今までのように大切に考えてくれますか？ そうじゃないと思います。民営化反対！</p>
8	<p>私は水道事業の経費について、事業内容について、今後の計画について情報公開がなされ、意思決定への参加がすべての市民に保障されることを条件として、民営化を回避し、公営を続けることを支持し、その場合の税負担が正当なものであれば増税も認める用意があることを表明し、民営化に反対します。</p>
9	<p>民営化・広域化に反対します。伊勢の水はおいしいといわれています。ぜひ守ってほしいです。民営化は安全に不安があります。</p>
10	<p>私の生命を守る水は、せめて現在のおいしい安全な水であってほしい。現在のように公営である場合は、“金”の利害関係がない（と信じている）から（“金”に左右されないから）安心。一番心配なのは、利害関係によって水質水量が意のままにされること、絶対民営化は反対です。外国では民営化を国営に戻すとのこと、ぜひ考えてほしい！</p>
11	<p>今から 20 年ほど前“いのちの水”を守ろうと矢持での産業廃棄物処分場問題、横輪町での市のゴミうめた土地反対運動にかかわり、水源地を守り抜きました。水道事業の民営化ではいのちの水の保障は不案です、絶対に公やけで現在のまま続けて下さい。コスト問題もあると思うが…金よりいのちが大事です。</p>
12	<p>伊勢市水道事業ビジョン（案）を拝見しました。いろいろと詳しく書いていただいておりますので、しっかりと水道事業に責任感を持って取り組んでおられることを心強く思いました。ただ、いろいろなことが書いてあるために、「要するに何を提案したいのか？」が、まったく要領を得ません。</p> <p>伊勢市の人口減と水の消費量の低下による収益率の低下と、耐用年数を過ぎた老朽水道管の更新にかかるかかる費用の 2 点が問題なのだと思います。食料はなくてもしばらく生きていけますが、水と空気は枯渇すればただちに生命を維持できなくなります。我が家も水道が整備されてから先祖伝来の井戸を埋めてしまっているので、水道はまさに生命線です。ですから、何があっても以下の 2 点は絶対に守っていただきたいと思います。</p> <p>① 水道料金の値上げはある程度やむをえないが、所得や使用量ににんじで累進課税的な料金にして、水道料を払えない人にも最低限の水は確</p>

	<p>保できるようにすること。</p> <p>② 国の方では水道民営化などという国民の生命を営利企業に売り渡すような計画を進めているが、水や空気や公共空間（道路のこと）は絶対に私物化させてはならないものであり、政府(国・自治体)が最後まで責任を持って維持しなければならない。</p> <p>* 特に国の計画でおかしなところは、維持管理に金のかかる設備は自治体を持って、収益部分だけ民間に委託するということなのです。公共料金では値上げしにくいので独占企業によって有無を言わず値上げを進めようという意図でしょうか。国（官邸）からの圧力は相当あると思いますが、ここは、食における種子法を守ることと並んで、日本の自治体の意地を見せなければ、確実に子孫に負の遺産を残すこととなります。というか、今生きている大人の責任です。</p>
13	<p>水道は国民の命を支える根本的に重要なインフラです。市町が責任をもって、水源から家庭まで、安全に届けなければなりません。保守、設備の更新に莫大な費用がかかるといっても、必要な費用を惜しんではなりません。民間企業は営利が先立ちます。民営化には反対です。</p> <p>また、伊勢市は、安全においしい水道水が飲めることを誇りにすべきで、よそから水を引っ張ってくる必要はありません。蓮ダムの水を押し付けられている中南勢開発の失敗のツケをいつまで負担するのでしょうか。</p> <p>水道課のみなさんの働き、努力にはいつも感謝しております。これからも頑張ってください。</p>
14	<p>人は水なしでは1週間と生きられません。水は公共の財産であり、水はいのちそのものです。水源となっている、清流「宮川」「五十鈴川」は、伊勢市の掛替えのない、貴重な宝です。その財産、宝物を民間業者に売り渡し金もうけの商品にするなんて、言語道断です。仮に、水道事業の民営化後事業者が破綻し、撤退でもすれば、水を失い、生存そのものが危殆に瀕するのではないのでしょうか。</p>
15	<p>安全、安心の水の確保に尽力され、しかも財政的にも今のところ黒字とのことで、多大のご尽力に感謝します。また、水道施設、排水管、加圧ポンプ等の補強、ならびに管路の耐震化の必要も述べられているとともに、応急復旧や給水活動について、考慮されており、市民として心強くぞんじます。安全な水の保証では、水質基準に適合した安全水道水を供給しているとあり、とても重要なことです。問題は、人口減少、老朽化施設の更新、耐震化などの中長期の財政健全化、経営の効率化などが指摘されています。具体的には、耐容年数40年を超える管を更新するにあたり、必要となる財源をどうするかです。100年を見据えて計画を立てても、需要がどうなるか見通せないなか、今後、改良された管の開発や技術の効率化なども考えられます。どのように計画するかは知恵の出どころではないのでしょうか。</p> <p>特に注目した点は、</p>

- ①現在水道事務所は二見総合支所内にあるが、津波浸水の危険を考慮して、新たな事務所へ移転する必要があるとの指摘です。
- ②浄水設備の稼働や高所へのポンプ揚水のために多大な電力を要し、省エネ対策、再生可能エネルギーの利用向上を図ることが重要との指摘に賛同します。再生化のエネルギーの振興に取り組み、地域活性化、循環型社会の実現を願っています。
- ③最も注目したのは、「官民連携、広域連携の推進」です。現段階で活用している民間委託の内容を検討し、委託範囲の拡大や包括委託等について検討します。また、水道法改正の動きもあることから（既に決まりました）さまざまな官民連携手法の導入可能性について、先進事業体の事例等を調査・研究し、本市への適用性について検討します。中略、本市として広域化の優位性を判断するとともに具体的な連携方策について検討します。

2011年3月水道法の改正により、民間企業に水道の運営権を委託する方式になり、伊勢市でも料金徴収など委託していることを知りました。2018年5月、企業に公共水道の運営権を持たせるコンセッションを促進する法律が制定されました。問題点を列挙すれば、○大震災が起きた時、ライフラインの復旧が民営だと国の支援を受けられる保証がない。○日本は自然災害が多く、老朽化した水道管が壊れ、莫大な復旧費がかかる。○災害時に破損した水道管の修理は、自治体と企業で折半し、その際、企業は利益が得られないようなことはしないにも拘わらず、企業側が尻込みしているとみて、またまた、12月6日水道事業を「民営化」しやすくする改正水道法が成立しました。今度の法律もほとんど国会審議することもなく、国民がその内容も知らず、採決されてしまい、驚いています。総務省は自治体に水道事業民営化を積極的に勧奨しているし、一度、民営化をして様子を見ようという手もありますが、それには与しません。なぜかといえば、水道料金高騰、財政の透明性欠如、公営が民間企業を監督する難しさ、劣悪な運営、人員削減によるサービス低下などが指摘されます。さらには、再公営化の際、得られるはずの利益が得られなかったとして、企業側から提訴されたり、契約期間を途中解除した場合、莫大な違約金を払わされます。「アジア太平洋資料センター」から出ている「最後の一滴までヨーロッパの隠された水戦争」のDVDを見て、すでにご承知のこととは思いますが、そのビデオにヨーロッパでの実情が示されています。フランスをはじめとしてヨーロッパで、数年前まで民営化が常態化し、民営の独壇場だったのに、想定した利益が保証されなければ、高額な賠償金が要求されたりして、水道料の値上がりや運営の透明性が開示されないなど、やがて水道の運営権を取り戻すことになりました。その際、巨額の金が要求されます。住民の反対運動も広がりました。ヨーロッパでは次々と再公営化され、仏ヴェオリア社はアジアに矛先を向けているとの話に頷けます。おそらく彼らは今度こそ失敗のないよう、巧みに迫ってくるに違いありません。2012年3月には仏ヴェオリア社の日本法人が、松山市の浄水場運営権を、12億9654円で手に入

	<p>れたのが、日本での始まりだと言われています。地方自治体の実施条例を制定すれば、水道料金の値上げについてこれまでのように議会の承認を必要としないので、企業が料金の値上げを自由にできることとなります。自治体の実施条例を制定すれば、地方債の繰り上げ償還を認められ、元金以外は免除になるなど、優遇されます。政府が水道事業の民営化を推奨しているので、浜松市、仙台市、大阪市、東京都などが民営化に積極的と聞きます。</p> <p>最後に、ご承知の通り、日欧 EPA も来年 2 月に発効となりました。日欧 EPA の詳細は開示されていないので不明ですが、要するに、水道法改正にしろ、漁業権、種子法ほか、様々な面で民営化がなされています。これらは TPP11、日欧 EPA、やがて日米 FTA、RCEP などの影響によるものと考えます。</p> <p>つまり、大企業優先の政策であり、庶民のための政策ではないのは確かです。私は「TPP 交渉差止・違憲提訴の会」に属しています。これまでは、控訴審で未発効を理由に敗訴でしたが、今度は最高裁に提訴の予定です。</p> <p>命の源である水を利益追求の多国籍企業に任せてもよいものでしょうか。断じて反対です。ヨーロッパの経験を参考にすべきです。</p>
16	<p>国が民営法を通したからといって どうして伊勢市がさっそく民営化を検討する必要があるのですか？ 民営化すれば国の援助がなくなるのですから企業の決めた水道料金になってしまいます。郵政民営化で私達住民はとても不便になったことはすでに実証されています。水道料が企業の決めた料金になり払えなければ、水が止められるなど、今まで想像もしていなかった悲劇が起っています。すべての人があたりまえに水が使える伊勢市でありつづけて下さい。</p>
17	<p>① 第 6 章「本市としての広域化の優位性を判断するとともに具体的な連携方策についても検討します」伊勢市は清流として全国的に名も知られている「宮川」と「五十鈴川」があり、大阪市や京都府から来た子どもたちも、伊勢市の水道水の美味しさを讃えている。広域化の経済効率を優先させるのではなく、安全で美味しい水を残すべきである。伊勢市の水道事業の広域化に反対します。</p> <p>② 第 6 章「さまざまな官民連携手法の導入可能性について、先進事業体の事例等を調査・研究し、本市への適用性について検討します。</p> <p>水は空気と同じで人間が生きていくのに絶対に必要なものです。その水を民営化するとは何事ぞ。「官民連携」とは言うものの、「民」は利益追求して存在するものです。利益があつてこそ「民」は参加するのです。命の水を「民」に売り渡すべきでない。伊勢市の水道事業に「官民連携」を持ち込むことに強く反対します。</p>
18	<p>民営化になると、安全性、安定性に欠け水道料金が高くなるのは困ります。</p>
19	<p>民営化すると、安全性、安定性がおろそかになり、水道料金が高くなる困ります。</p>
20	<p>伊勢の水は安心して飲むことができる、誇りある水です。水道に関する市の施策も、市職員の皆様のご努力により おおむね満足のいくものだと感じております。民営</p>

	<p>化する必然性はどこにもありません。諸外国でも、民営化に伴う料金値上げ、安全性の問題等が浮上し再公営化にという動きがある、と聞いております。それを他山の石とし、伊勢市においても民営化、広域化反対ということで対処していただくことを熱望します。</p>
21	<p>① 広域、民営化は絶対反対、理由は水は命の元であり生きものです。伊勢の水は水道から飲んでも美味しい、安全で安心。他県に住む子ども達も伊勢の水は美味しいと。</p> <p>② 宮川、五十鈴川と近くで水も豊富にある。</p> <p>③ 以前に水洩れがあった時、連絡したらすぐに水道課の職員の人に来て原因を探して来れた。民間の所は人員が居なかったりすぐに対応してくれなく有料になる</p>
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民営化すると、安全性や安定性が、おびやかされ、水道料金が高くなると思います。 ・ 民営化の弊害が明らかになり、海外では水道事業の再公営化が広がっている。 ・ 広域化すると、地域の自己水源を放棄したり、過剰なダム水が住民負担になる。
23	<p>どうして民営化、広域化にするのか一度も市民に説明していない。郵政民営化でも明らかなように地域にくまなくあった郵便局が過疎の村からはなくなり歩いてはいけないといったように水道が民営化されれば利益を生まない地域には水道経営者は設置しなくなり高い水道料になることが必然的である。広域化すれば、地域の自己水源（五十鈴川）を放棄したり、過剰なダム水が住民負担になる。</p>
24	<p>水道民営化で料金が上がりませんか。水道が民営化されれば当然下水道も民営化され共に料金が上がるような事になれば今でも水道料、下水道料で毎月負担が大きくこれ以上料金値上げになるような事絶対反対です。</p>
25	<p>おいしいお水をいつもありがとうございます。水道法が改正(改悪?)され、とてもとても…本当にとっても心配です。日本は災害の多い国。この伊勢でも集中豪雨などで被害があります。そんな時、「命の水」がもし、民営化されていたら どうなるのか…炊き出しとか お風呂とか…水を使うことはいっぱい!!それは、公営だから、心配せずできるのでは…また、外国の色々な例を見ても ひどい水を飲まされているところも見ました民営化、広域化は、私たち庶民には、マイナスだと思います。絶対やめてください!!</p>
26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な水を飲んで、いつもありがたいと思っています。 ・ 水は企業ではなく、公共事業であるべき。利潤追求や、企業の都合で、危険な水やずさんな管理など不安がいっぱいです。 ・ ヨーロッパでも民営化から、公営に戻す動きがでてきています。 ・ ぜひ、今の水道事業のままお願いします
27	<p>民営化に反対します。</p>

28	民営化について 安全性、水道料金(代金の疑問)水質など民営化になれば 今までのように、いかないと思います。民営化反対です。
29	水道事業の民営化に反対します。
30	水は私たちの暮らしになくてはならないものです 命の源です。 民間企業になれば利益を優先し住民へのサービスが削除されるのでは・・・。(災害時や事故時の水の配給など)安全で安定的に水を国民に等しく供給するには、国や自治体がやるべきです。
31	改定水道法による「伊勢市水道事業ビジョン計画」伊勢市に民営化・広域化に反対します。水道に利潤を含むことを認める水道民営化は憲法違反です。水道料金値上げにつながります。安全性・安定性が気になります。海外では、水道事業の再公営化が広がっているとか。
32	水道の民営化は反対します。
33	民営化は反対です。
34	民営化は反対です。
35	水を民営化するとはもってのほかです。2才と5才の子を持つ親として、不安でなりません。水をコンビニで買わなければならない世になるのでは。
36	水は生命の源です。これを民営化は絶対反対です。子供達に水がとくに大切、人間が滅びてしまいます。
37	憲法 25 条の生存権保障するためにも安全で安定的に水を供給して下さい。広域化と民営化は、絶対にしないで下さい。いつもおいしい水を届けていただいてありがとうございます。
38	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃よりおいし水をありがとうございます。 ・ 災害が多くなり水の確保が不安です。 ・ 命に直結する水の事業は市が管理して下さい 民営化は市場となり水を商品にしてしまうので反対です。 ・ 格差社会になり生きづらくなる中で、水を平等に命を守って下さい。
39	水道は生命の源絶対に民営化しないで下さい。水を営利の対象にすることは人権の侵害です。 広域化も北海道の大停電を見ればわかるように被害が大きく回復に時間がかかること見れば絶対に広域化にも反対です。
40	伊勢市の水道事業については、将来官民連携・広域連携については嫌です。水道料金の値上げと水質の悪化など害悪が懸念されます。 広域水道は主にダム水源で地下水源の3倍と原価が高くなります。地下水源など貴重な自己水源を廃止しないで、もらいたいです。 災害時に対応できるように市民の飲み水を守って下さい。
41	伊勢市の水道事業ビジョンを読ませていただき、運営・努力をされていることに信

	<p>頼感を覚えます。評価されにくい地道な事業であるだけに、鋭意努力されている職員の皆様に敬意を表すものです。水道法が改正され民間参入が可能となりましたが、審議は十分に尽くされたとは言いがたく、周知も充分とは言いがたい状況と思います。このまま民営化の方向に進む事は到底納得できるものではありません。海外では民営化の失敗事例も多く（ほとんど全て）不安はつきません。国内企業では事業そのもののノウハウ不足といわれ、海外企業のフランス・ヴェオリ社、スエズ社、イギリスのティムズウォーターといった、いわゆる「水メジャー」と呼ばれる企業の参入が予想されます。企業は収益を求めます。市民・住民の安心、安全とは相容れない利益追求がなされることが懸念されます。直接には水道料金の高騰が市民生活を圧迫してくることでしょう。フランス・パリでは85年から09年の間に水道料金が265%アップされ、再公営化に戻すといった事例などがあります。日本政府は、これはコンセッション方式とよばれるシステムであり民営化ではないと言っていますが、企業へのチェック機能が薄く、地方自治体がどこまで運営に関与できるかも不透明です。また、先日発効したTPPのラチェット条約により、一旦民営化された事業の再公営化は極めて困難（できない）になります。安心・安全で安価な水は市民生活にとってなくてはならないライフラインです。そのため採算を度外視で運営されてきたものです。ビジョンでは将来的には人口の減少＝収入源といった現実や、人材の不足による不安要因も記されていましたが、何よりも優先すべきは市民生活です。そのための人材育成（適切な人事、技術者の再雇用などを含め）を求めるとともに、将来を見越した行政運営と市民生活は市役所が守る気概を改めて発揮して乗り越えて頂きたいと思います。鈴木市長は市民の側に立って行政運営できる市長と信頼しています。水道の民営化などという愚かな国策に動じず、市民の生命、安全、安心のため幸福な伊勢市のため、ご活躍されることを祈念いたします。</p>
42	<p>国会で水道法が成立し、新聞紙上による知識で得たのは非難・否定のコメントが多い事を知った 伊勢市の水道は、私は日本一美味しい水を安心安全に供給されており何の不満も持っていない そこで何故民営化にする必要があるのかを詳細、具体的に知りたい 民営化は採算が合わなかった場合は水道の料金値上げや事業撤退など（何しろ営利が目的だから）あるかもしれない。生命の維持に欠かせない水道事業には許されない事で、今のままの公営が良いと思う。</p>
43	<p>水道事業の運営を民間に委託してしまうのには反対である。まず基本的に安全な水を安価に安定的に提供されることは、市民の生きる権利である。民営化してしまったら、必ず金儲けの対象になってしまう。水は金儲けの対象にすべきではない。電気やガスでも同じである。本来公営化すべきであるのに現在は電力会社やガス会社が国民に提供しているために、いくらかの法的責任が課されているとはいえ、たとえば電力会社は原価に3%のもうけを加算して電気料金を段定している。つまりどんなことがあっても電力会社は儲けることができるのである。しかも電気が公営化</p>

	<p>されていたら、原子力発電にしがみつくなことなく、再生可能エネルギーをもっと大きく普及させることができるのではないだろうか。</p> <p>本題の水に戻すが、外国の例を見ても明らかである。外国ではいったん民営化された水道事業を再度公営化するところがどんどん増えてきている。いま日本では20年も遅れて同じ轍を踏もうとしている。伊勢市は大きな金をつぎ込んで市民病院を作った。私はあの事業には大賛成である。医療は金儲けの対象にするものではないからである。</p> <p>市当局の賢明な判断を期待している。</p>
44	<p>民営化絶対反対 公域化も絶対反対</p> <p>世界で民営化から公営化に戻った例も多い。伊勢市の水道は、宮川の清流の水でおいしいといわれ、その恩恵をあたりまえのように感じてきましたが、民営化・公域化など、危機感をもちます。どうか現在のままを守り通して下さい。切に願います。上水道課に携わる、皆様に感謝しつつよろしくお願い致します。</p>
45	<p>水は命の根源です。伊勢市の水道事業を民間に委託、または一部移管の計画には反対です。民間委託とは、水道事業を儲けの対象とする道を開くもの。水を金儲けの手段に使うということは邪道ではないでしょうか。住民の命を金儲けの犠牲にしては公共の事業とはいえません。どうぞ、伊勢市の水道はあくまでも公共事業として利益のためでなく住民の命を守る、という観点から検討をお願いします。</p>
46	<p>水道の民営化には反対です。なぜ今さら民営化に？と思います。安全性、安定性がおろそかになる事も困りますが水道代が上がるのは確実です今迄安心して使っていた水道料金が心配と思う様に使えなくなってしまうおそれがあります。庶民にとっては例え少しの値上げにもつらいものがありますので！！</p>
47	<p>水道は最後の命のとりで民営化に反対します</p>
48	<ul style="list-style-type: none"> ・水は人間の生命にとって最も大事なもの。 ・民営化には絶対反対です。(ヨーロッパなどでは、民営化ではいけないとの反省のもと、公営に戻す国が続出。競争や利潤追求の場にさらしてはならないものです) ・今の公営のままで、安全で安定供給を希望します。
49	<p>「公設民営化等表現は異なってもハード面ソフト面すべての民営化には絶対反対します」民間企業であるからには慈善事業ではないから当然利潤追求が求められ、安全安心で良質の安価な水の確保が期待し難い。生命の存在と直結する水道水は公共の財産であり利益の対象とすべきでなく、民間委託にしようものなら、それは公共団体としての責任放棄と言わざるを得ない。公共団体の手から離れるようなことがあるとしたら市民生活への不安、悲しみを深めることはあっても安心して安全な市民生活が保証されることはない。“伊勢市民は美味しい宮川・五十鈴川の水を呑み続けたいのです”</p>

50	<p>「官民連携・広域連携」の項があり、「検討します」とありますが、国会で「改正水道法案」が可決された時より、このことをとても心配し不安に思っています。</p> <p>水は、私たちの生命の源とも言える大切なものです。もうけることが基本の民間に任せていいのでしょうか。国鉄も民営化されましたが北海道などでもうけの少ない地域の鉄道が廃線となり過疎化にさらに打撃を与えています。水道事業が民営化されたら、水道料金の値上げや水質の安全性など心配でたまりません。また広域化が進められると、地下水源よりも原価が高いダム水源が使われるようになり、これまで使っていた地下水源が廃止されたりしないだろうか、また、災害時に対応できるのだろうかと不安はつきません。</p> <p>どうか、伊勢市のきれいでおいしい水をこれまで通り自治体で守っていただきたいようによろしくお願いします。</p>
51	<p>水道事業の民営化について慎重にしてほしい。ヨーロッパ・アメリカでは民営化による弊害が著しく、公営にもどす動きです。命の水は、安心できる公営市営でお願いしたい。</p>